

令和6年度（2024年度）第1回東海市地域公共交通会議会議録

○会議の名称 令和6年度（2024年度）第1回東海市地域公共交通会議

○開催日時 令和6年（2024年）6月27日（木）

午後1時30分から午後3時30分まで

○開催場所 東海市役所302会議室（3階）

○出席委員 稲吉豊治（会長）、齋藤誠（副会長）、嶋田喜昭（議長）、
金森隆浩、高井勇輔、天野朝之、小林裕之、藤田和弘、小島浩資、
久野兼幸、片桐眞砂子、冨田厚子、安田譲、秋山和子、安藤剛輔、
小笠原功、中島淳、宮川高彰、石屋義道

○欠席委員 湯浅一成、野崎舞衣子、桑山忍、伴野誠司、今井聡至

○事務局 都市建設部長、都市計画課長、同主幹、同統括主任、同主任、
同主事、総務部交通防犯課統括主任、教育委員会スポーツ課主幹

○オブザーバー 委託事業者2人、株式会社アイシン2人

○傍聴者の数 3人

○議題及び審議の概要

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

（会長）

4月に東海市役所の組織改正を行い、地域公共交通の関係が総務部から都市建設部に移管され今年度から会長を務めることになる。

昨年度の循環バスの利用者数は約31万5千人であり、コロナ前の約44万人までには至らないものの、回復傾向が続いている状況にある。

今年度10月から循環バスのダイヤ・ルートの再編、デマンド交通チョイソコ東海の実証実験が始まり、公共交通の大きな転換の年になると思われる。

また、交通を取り巻く東海市の環境としては、一昨年（2022年）の12月に名古屋半田線バイパスが市内で全開通し、今年3月16日には名古屋鉄道の新駅である加木屋中ノ池駅の北口が開業した。さらに、今年度の末に、養父森岡線が名古屋半田線まで延伸する予定であり、その後新駅の南口開業や駅前広場の整備が予定されている。今年度には、知多市と共同の温水プールアクアマリンプラザがオープンするなど、バスを取り巻く環境が変化していき、利用者のニーズも多様化していく

と考えられる。

本日の会議では、多くの報告事項及び協議事項があり、円滑な会議の運営に協力いただき、それぞれの立場で忌憚のない意見を頂戴したい。

3. 報告事項

(1) 地域公共交通会議について

中部運輸局愛知運輸支局による資料1の説明

(2) 東海市地域公共交通会議設置要綱の変更について

事務局による資料2の説明

(3) 令和5年度（2023年度）第5回会議録の確認について

事務局による資料3の説明

(4) 循環バスの利用状況等について

事務局による資料4の説明

（議長）コロナ禍前は現在に比べると利用者が多かったことがわかる。現在は順調に回復傾向にあり、ＩＣカード利用者も増加している状況にある。

(5) 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

事務局による資料5の説明

（議長）地域内フィーダー系統の評価の件で、高齢者向けのスマートフォン活用支援講習はどのくらい開催したのか。

（事務局）昨年度は市内で20回開催し、185人が参加している。

（委員）循環バス利用者のうち、外国人の割合がどの程度なのか把握できているのか。また、外国人向けのバス利用促進策等は検討されているのか。バス路線の評価対象はどういった内容なのか。

（事務局）他市では、英語版のバスマップ等を作成しているが、本市ではまだ対応できていない状況である。バス停の標識には、名称の上部または下部にローマ字を表記しているが、今後外国人利用が増加する可能性を踏まえ、対応を検討していく必要があると考えている。バス路線の評価は国庫補助金の交付対象となる路線を対象としており、知多乗合（株）の横須賀線、知多市コミュニティバスのあいあいバス北部循環コース、東海市循環バスの中ルート、南ルートが対象である。

（会長）過去のアンケート調査等で外国人利用者割合が把握できるのか。また、

問い合わせなどはないか。

(事務局) 過去のOD調査等では国籍までは把握していない。問い合わせも今のところない状況である。

(委員) 補助金の交付にあたり、事業を実施する上で目標を立てて達成に向けてどのような取組を行っていくということについて、この地域公共交通会議において協議いただき、事業年度が終わる時点で自己評価を行い提出することになる。提出内容について運輸支局で確認し、評価した内容が資料5-1及び資料5-2となる。

(6) 追加するEVバス車両及びカラーデザインの統一について

事務局による資料6の説明

(委員) 基本的に、らんらんバスはEV化していく方針であるのか。

また、EVの充電ステーションを防災の面で活用することも検討しているのか。

(事務局) らんらんバスの車両は、昨年と今年10月の導入でEV車両は計4台となり、10月のダイヤ・ルート再編後からは、ディーゼル車両も含めて計8台の車両で運行していく予定である。その他車両のEV化については、充電ステーションの設置や充電時間を確保するためのダイヤやルートの運行計画の検討が必要となってくることから、次の更新ではディーゼル車両を検討している。EV車両の導入は、今後の社会情勢を踏まえて検討していきたいと考えている。防災面での活用については、活用可能性や実現性について現在検討していないため、今後検討していく必要があると考える。

(議長) 車両変更による乗車人数はどのくらい増えるのか。

(事務局) 座席は2席、立席は5席増加するため、乗車人数が7人増加する。

(7) 東海ハーフマラソン2024について

事務局による資料7の説明

(委員) 知多バスの上野台線は交通規制の対象となることから、知多乗合(株)でHPや停留所の掲示などで周知していく予定である。これまで、上野台線は交通規制の対象となる区間のみを運休し、上野台線から共和駅前間の運行としており、十分な周知が必要であることから、市と協力しながら周知を図っていく。

(8) デマンド交通「チョイソコとうかい」の実証実験の進捗状況について

事務局による資料 8 の説明

(委 員) 利用対象者で、18 歳以上で自動車運転免許証を所持しているが、自動車を持っていない方もいると思う。今後デマンド交通の導入を本格検討していく中で、どう線引きすることを考えているのか。

(事務局) 自動車の保有状況ではなく、交通手段として選択肢がどれくらいあるのかという視点で、自動車運転免許証を所持しているのであればカーシェアリングなどの選択肢があるということで、今回の実証実験では対象外としている。実証実験期間中に検討を進める必要があると考える。また、バスやタクシー等の既存の交通手段との競合について考慮し、利用対象を幅広くしすぎないように検討する必要があると考えている。

(委 員) 1 人 1 乗車 300 円の根拠は何か。

(事務局) らんらんバスやタクシーの運賃を考慮して設定している。また、名古屋鉄道の名和駅から太田川駅間の料金 250 円も考慮している。

(委 員) 事前予約制ということであるが、突発的には利用できないのか。

(事務局) 事前に会員登録した上での、事前予約となっている。会員登録の際に利用者の自宅付近の停留所を設定し、住宅地停留所から目的地停留所までの往復利用が前提となる。予約は 2 週間前から利用希望時間の 30 分前までを予定している。

(議 長) エリアサポーターとなる企業の状況はどうか。

(事務局) 現時点で、17 社となっている。また、目的地の停留所は 76 カ所、住宅地停留所は 62 カ所となっている。引き続きエリアサポーターは募集し、停留所は実証実験中も随時追加を予定している。

4. 協議事項

(1) 議案第 1 号 令和 5 年度（2023 年度）東海市地域公共交通会議決算について

事務局による資料 9 の説明

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

(2) 議案第 2 号 令和 6 年度（2024 年度）事業計画案について

事務局による資料 10 の説明

(委 員) デマンド交通チョイソコとうかい実証実験については、第 3 回地域公共交通会議以降で利用状況等を示され、協議を進めるという認識でよいか。

(事務局) 第 3 回地域公共交通会議は 10 月 1 日以降となるため、直近で把握できる実績等を提示し、協議を進めていきたいと考えている。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

(3) 議案第 3 号 令和 7 度 (2025 年度) 地域公共交通確保維持事業案について

事務局による資料 11 の説明

(委 員) 市内小学校でのバスの乗り方教室の今年度の実施計画について教えていただきたい。また、新規ルートに対応したバスマップの配布はいつ頃を予定しているのか。

(事務局) バスの乗り方教室は、11 月 27 日水曜日の午前に渡内小学校、午後に三ツ池小学校を予定している。バスマップは 9 月 1 日号広報で全戸配布を予定している。ポケット時刻表は公共施設やバスの車内で配布を考えている。

(議 長) バスマップは外国人への対応も反映できるとよい。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

(4) 議案第 4 号 東海市地域公共交通計画の推進について

事務局による資料 12 の説明

(委 員) アプリなどの活用など多様な方法について検討いただきたい。

(事務局) デジタル化が進んでいることもあり、多くの方に対応可能な方法を検討していきたいと考えている。

(議 長) 加木屋中ノ池駅の駅前広場はそれぞれの改札口に整備されるのか。

(事務局) それぞれに整備される。南口改札口の駅前広場にはバス停留所の設置を予定している。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

(5) 議案第 5 号 東海市地域公共交通計画の一部改定について

事務局による資料 1 3 の説明

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

(6) 議案第 6 号 循環バスの次期ルート再編に伴うダイヤ編成について

事務局による資料 1 4 の説明

(議 長) 赤柾がバス停名称の変更であるか。

(事務局) 赤柾が名称の変更であり、路線図の赤字は新設バス停である。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

5 閉会のことば